

# 支部活動報告

今年度は新型コロナの影響もありましたが、それぞれが工夫して活動しました。

## 白根支部

### コロナウイルスを意識しての視察研修

秋の視察研修を「近場・短時間・ソーシャルディスタンス」を意識して開催しました。JAみらい（本所）で新米の検査を見学等級の状況や生産量、出荷状況について学習しました。次に同（南支所）果実選果場を視察。



旬のあきづき梨の選別ラインやシャインマスカットの出荷状況を視察、お昼前の解散となりました。バスでは一人一席、会話は小さく、換気をしながらとなりました。

## 豊栄支部

### 補助金を元におそろいのジャンパーを購入



昨年11月、赤い羽根共同募金補助金制度に豊栄支部として申請させて頂き、今年の5月に申請許可が下りました。

「揃いのジャンパーを着て皆で活動出来たらいいね」と話しあいました。補助金を元に ①お揃いのジャンパー20枚 ②のぼり3旗、色はジャパンプルーと決定、購入しました。

豊栄支部として地域活動に参加するための準備が整い張り切り、喜んでいました。私達は、安全・安心で暮らしやすい社会を作るため、活発に様々な活動をしてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されています。新しい生活様式を徹底しながら創意工夫をしながら、ジャンパーを着用して地域活動に貢献できる日が来ることを願い、楽しみにしています。

## 巻支部

### 講演会を開催

コロナ禍でなかなか活動できずにいたが、講師に地元の藤田久氏にお願いし「角田山から見える環境問題」の演題で11月2日、開催にこぎつけた。

前半は、角田浜におけるゴミの不法投棄を防ぐため自治会と共同して「車止め」を設置した結果、海浜植物の再生が見られるようになった環境保全のお話だった。後半は、登山道荒廃の現状と、その修復に関する作業の取り組みが紹介された。手軽に登れる標高400m余りの

角田山は、驚くことに年間12～13万人が登るといわれ、完全にオーバーユース（過剰使用）にあり、階段や山頂の表土流失が目立っていた。地元のささやかな取り組みが県に通じ2010年、ヘリの荷上げが実現し、登山道修復工事が着手され、登山道の荒廃が軽減されたという。今後も、山頂バイオトイレの故障や、オーバーユース対策の課題が残されている。



## 新津支部

### コロナとの共存を願って活動縮小

会員に高齢者の多い事から、新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年度は書面総会で幕をあげた。以後、自主活動は9月まで休止。10月14日と11月11日に新津地区市民会館で恒例の定例会実施。全国的コロナ拡大(第3波)に伴う県内でのクラスター報道から12月定例会を見送る。新潟県内の食堂は自粛要請に至らないことや、全国的な11月後半からの3週間の自粛の報道でのパンデミック回避に願いを込め、1月の定例会を新年会も兼ねて実施する方向で準備決定。なお、当会として関連団体への事業協力や、各種会議出席を通し、その任に当たる支部長はじめ会員が各々、活動を継続してきた。コロナ感染症が、今後の活動の在り方のヒントを与えてくれていることに日々気づきを貰う毎日。会報が皆様の手元に届く頃には、1月の定例会が、無事実施されていることを切に願う。



## 新潟支部

### コロナの影響も何のその

今年はコロナの影響で企画を変更して活動しました。販売部は5月の販売会は中止になり、活動計画を会員有志による手作りマスクの販売に変更しました。マスク作りのきっかけは3月頃のマスク不足で苦労している会員に会員有志が手作りマスクを作り、希望者に届けてくれたことからでした(今も大切に使っています)その後販売部が引き継ぎ、販売として人から人への「マスクの輪」が広がっています。



テスト教室部は市の「子ども消費者学習」の他に部員有志が、農作業(ル・レクチュ、ワイン用ぶどう)の通年作業を体験中。先日、ル・レクチュの収穫を終えましたが、見えない作業が沢山あり、高価な価格になることも納得できました。冬には枝剪定作業の予定もあります。



## こんなメール来ませんか? これは迷惑メールです! ↓

右記のようなメールが来たらどうしますか?

「ログインを押してはいけません」とは県の消費生活講座で強調されたお話です。ではどうしたらよいのでしょうか。

- ・ログインや返信をしない。(無視する 削除する)
- ・心配な場合、新たにそのサイトを検索し、そのサイトに直接問い合わせる。等。です。

とにかく言われるままにクリックしてはいけませんとの講師の助言でした。

そのほか、スマホに「お荷物のお届けにあがりましたが不在の為持ち帰りました。ご確認ください」というメールが来ませんか。これも偽宅配業者の不在通知を装った迷惑メールです。返信をしないようにしましょう。

### 通販サイトを騙ったメール (実際の文面)

Amazon に登録いただいたお客様に、アカウント情報の一部が誤っている故に、お客様のアカウントを維持するため情報を確認する必要があります。下からアカウントにログインし、情報を更新してください。

**Amazon ログイン**

なお、24時間以内にご確認がない場合、誠に申し訳ございません、お客様の安全の為、アカウントの利用制限をさせていただきますので、予めご了承ください。……(文言続く)